



2024年10月15日発行（季刊）

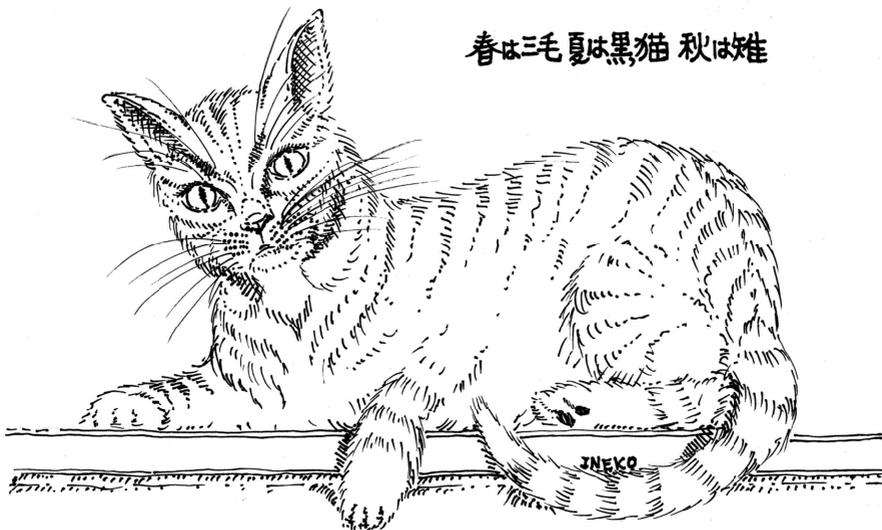


う 羽 化 か

ISSN1880-8646
2024年10月
第131号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会
〒231-0063 横浜市中区花咲町1-46-1-1105 Tel 090-9003-7279
発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣
編集責任者 木 下 和 久

春は三毛 夏は黒猫 秋は雉



目 次

漢点字のご紹介（岡田健嗣）	1
字式について（5）（岡田健嗣）	12
点字から識字までの距離（124）（山内 薫）	15
漢文のページ	19
ご報告とご案内	21
編集後記（木下和久）	23

漢点字のご紹介

町田市赤十字点訳奉仕会様の

お招きによる



岡田 健嗣

去る2024年10月15日に、町田赤十字点訳奉仕会様からお招きをいただいて、町田市立中央図書館を会場に、漢点字のお話をさせていただきました。

以下は、その折りに向けて書きましたレジュメです。

2024年10月15日、10…30

町田市赤十字点訳会様

漢点字について

お話の要点

漢字は大量の情報ボックス

漢字の3要素… 形・音・義

形… 六書に説かれるように、漢字は形とその形の組み合わせでできている。(六書… 象形・指事・会意・形声・転注・仮借)

音… 読みの音(音読・訓読)

義… 漢字は意味を表す(表意文字)。訓読はその意味を和語で表したものの。

↓ 漢字は(単語)として機能する。

先天の視覚障害者は漢字を学ぶ

機会を与えられていない

あい… (音読) 愛 埃 (訓読) 相 間 合い

藍… (音読) 各 画 格 角 … (訓読)

かく… (音読) 各 画 格 角 … (訓読)

欠く 書く 掛く 搔く 駆く 昇く 斯く

たつ… (音読) 達 (訓読) 立つ 建つ 樹つ

堅つ 起つ 発つ 経つ 裁つ 斬つ 断つ 絶つ

竜 辰

とく… (音読) 特 得 徳 篤 … (訓読)

解く 溶く 融く 説く 疾く

行… コウ ギョウ アン ゆく おこなう

後… コウ ゴ あと うしろ のち おくれる

生… セイ ショウ ジョウ いきる うまれる

はえる あい き なま おう ある なる ふ

操… ソウ みさお あやつる

日本語では、発音された音が、意味を直接に指し示すことはほとんどありません。発音とそれが指し示すもの(意味)との間に漢字が媒介者として介在します。

現在の視覚障害者は、その媒介者である漢字を学ぶ機会を奪われています。

そういう状態がどういうものか、「あい」「かく」「たつ」「とく」の漢字を隠して、漢字を知らないこととして眺めてみて下さい。どんな風景が見えて参りましょうか。

日本語点字の構造

ローマ字の構成に従った構造、母音十子音。

あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ
あ い う え お か き く け こ

さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と
さ し す せ そ た ち つ て と

(… n … h … m … r)

漢点字

漢点字は、大阪府立盲学校で教鞭を取られていた故・川上泰一先生が、創案されました。1969年に、全国に発表されました(次項は点字記号が多いので、横書きとします)。

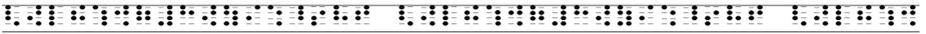


漢点字の構造

漢点字は、漢字の部首（パーツ）を点字の符号として表して、その符号を漢字の構成に従って組み合わせたものです。その意味で、漢字の構造を点字に置き換えたものと言えるものです。

第一基本文字（一マス漢点字）、57文字

糸⠠ (糸偏) 系⠠ (糸偏) 比⠠ 数⠠ 家⠠
(宀冠) 宿⠠ (宀冠・宀冠) 学⠠ (その他の冠)
言⠠ (言偏) 語⠠ (言偏) 頁⠠ (おおがい)
貝⠠ 金⠠ (金偏) 木⠠ (木偏) 草⠠ (草冠)
犬⠠ (獣偏) 子⠠ 都⠠ (こざと・おおざと)
市⠠ 癸⠠ (夂頭) 食⠠ (食偏) 馬⠠ (馬偏)
田⠠ 竹⠠ (竹冠) 土⠠ 手⠠ (手偏) 戸⠠
人⠠ (人偏) 仁⠠ (人偏) 水⠠ (さんずい)
氷⠠ (にすい・さんずい) 力⠠ 示⠠ (示偏)
私⠠ (禾偏) 走⠠ (走にょう) 進⠠ (しんにょう)
火⠠ 女⠠ 玉⠠ 方⠠ 石⠠ 耳⠠ 車
⠠ 目⠠ 門⠠ (門構え) 病⠠ (病垂) 行⠠
(行人偏・行構え) 店⠠ (广) 月⠠ 肉⠠ (肉
月) 分⠠ (八頭) 日⠠ 性⠠ (立心偏) 心⠠
口⠠ 囿⠠ (国構え) 十⠠ 止⠠



第一基本文字だけを組み合わせせた文字

漢点字と漢字の構造を表す字式

糸 田	糸 偏 + 田	サイ	ほそ - い	こま - かい
糸 方	糸 偏 + 方	ボウ	つむ - ぐ	
糸 分	糸 偏 + 分	ブン	まぎ - れる	
宀 子	宀 冠 / 子	ジ	あざ	
宀 示	宀 冠 / 示	シュウ	ソウ	むね
宀 玉	宀 冠 / 玉	ホウ	たから	
宀 車	宀 冠 / 車	ダン	つわもの	
言 方	言 偏 + 方	ホウ	おとず - れる	と - う
言 十	言 偏 + 十	ケイ	はか - る	
金 十	金 偏 + 十	シン	はり	
木 木	木 偏 + 木	リン	はやし	
木 三	木 三 (三つ)	(木 / 林)	シン	もり
木 目	木 偏 + 目	ソウ	ショウ	あい
相 心	相 / 心	ソウ	おも - う	
草 方	草 冠 / 方	ホウ	かんば - しい	



〇

孫 子+系 ソン まご

遜 しんによろ孫 ソン へりくだる

防 こざと偏+方 ボウ ふせ-ぐ

果 田・木 カ は-たす は-てる (木の
実・果物)

菓 草冠/果 カ くだもの (菓子)

課 言偏+果 カ (おわせる)

苗 草冠/田 ビョウ なえ (左右が逆転)

錨 金偏+苗 ビョウ いかり

描 手偏+苗 ビョウ えが-く

胃 田/肉月 イ

思 田/心 シ おも-う

圭 土/土 ケイ

畦 田+圭 ケイ あぜ うね (左右が逆
転)



○

佳 人偏 + 圭 カ よ - い

娃 女偏 + 圭 アイ うつく - しい

閨 門構え > 圭 ケイ ねや

街 行構え > 圭 ガイ まち

坊 土偏 + 方 ボウ まち へや

房 戸 > 方 ボウ ふさ

係 人偏 + 系 ケイ かかり かか - る

休 人偏 + 木 キュウ やす - む

保 人偏 + 口・木 ホ たも - つ (口 / 木 = 呆)

化 人偏 + (比の片方) カ ケ ば - ける
ば - かす

花 草冠 / 化 カ ゲ はな

貨 化 / 貝 カ たから まいない - する
(左右が逆転)

加 力 + 口 カ くわ - える

賀 加 / 貝 ガ よろこ - ぶ



o

伽 人偏+加 カ とぎ

駕 加/馬 カ ガ の - る しの - ぐ
(左右が逆転)

迦 しんによろ+加 カ

社 示偏+土 シャ やしろ

秋 禾偏+火 シュウ あき

鍬 金偏+秋 ショウ くわ

愁 秋/心 シュウ うれ - える

和 禾偏+口 ワ やわら - ぐ なご - む
あえ - る

辻 しんによろ+十 つじ

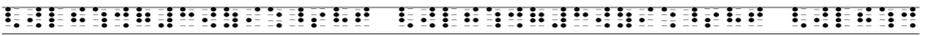
炎 火/火 エン ほのお

淡 さんずい+炎 タン あわ - い

談 言偏+炎 ダン かた - る

好 女偏+子 コウ す - く この - む よ
- い (左右が逆転)

姉 女偏+市 シ あね



o

- 𠄎𠄎 妨 𠄎女偏+𠄎方 ボウ さまた - げる
- 𠄎𠄎 間 𠄎門構え > 𠄎日 カン ケン あい あいだ
ま
- 𠄎𠄎 間 𠄎門構え > 𠄎口 モン と - う
- 𠄎𠄎 徒 𠄎行人偏+𠄎走 ト かし いたずら
- 𠄎𠄎 底 𠄎广 (まだれ) > 𠄎比 ヒ ひさし おお -
う
- 𠄎𠄎 床 𠄎广 (まだれ) > 𠄎木 ショウ ゆか ところ
- 𠄎𠄎 廂 𠄎广 (まだれ) > 𠄎𠄎相 ショウ ひさし
- 𠄎𠄎 廢 𠄎广 (まだれ) > 𠄎發 ハイ すた - れる
- 𠄎𠄎 応 𠄎广 (まだれ) > 𠄎心 オウ こた - える
- 𠄎𠄎 肺 𠄎肉月+𠄎市 ハイ (呼吸器)
- 𠄎𠄎 肪 𠄎肉月+𠄎方 ボウ あぶら
- 𠄎𠄎 頒 𠄎分+𠄎頁 ハン わ - ける わ - かつ (左
右が逆転)
- 𠄎𠄎 貧 𠄎分 / 𠄎貝 ヒン ビン まず - しい
- 𠄎𠄎 扮 𠄎手偏+𠄎𠄎分 フン いでた - つ



〇

晶 日 (三つ) (日 / “日+日”) ショウ
あきらか -

昆 日 / 比 コン むれ

混 さんずい + 昆 コン こ - む ま - じる

早 日 ・ 十 ソウ はや - い

員 口 / 貝 イン (左右が逆転)

損 手偏 + 員 ソン そこな - う

品 口 (三つ) (口 / “口+口”) ヒン ホ
ン しな

繰 糸偏 + 品 / 木 ソウ く - る

操 手偏 + 品 / 木 ソウ みさお あやつ -
る

燥 火 + 品 / 木 ソウ かわ - く かわ - か
す

困 国構え > 木 コン こま - る

囚 国構え > 人 シュウ とら - える



。

国 国構え > 玉 コク くに

回 国構え > 口 カイ エ まわ - る

古 十・口 コ ふる - い いにしえ (左右
が逆転)

枯 木偏 + 古 コ か - れる

固 国構え > 古 コ かた - い かた - まる

箇 竹冠 / 固 コ カ

個 人偏 + 固 コ

以上が、お話に向けてのレジュメですが、お話を終
えて、以下のような感想を持ちました。

Q .. 視覚障害者が日本語の文章（漢字仮名交じり
文）を従前に理解するには、どうすればよいでし
ょうか。

A .. 〈漢字〉が放出する情報をキャッチできるよ
うになって、日本語の文章を読みこなす訓練をすべ
ばよろしい。

Q .. 〈漢字〉の放出する情報をキャッチするに
は、どうすればよいでしょうか。

A .. テレビが放送局から流される電波をキャッチ
して番組を映し出すように、自らの脳の中に、〈漢
字〉から放出される情報の受信装置を設ければよろ
しい。

Q… 〈漢字〉の情報の受信装置は、お金を出せば買えるのでしょうか。

A… お金では買えません。〈漢字〉の知識を得れば、自動的に受信装置が、脳の中に構築されます。そして、沢山の情報をキャッチすることによって、それは充実して行きますし、アンテナも大きく広がります。

Q… 〈漢字〉の知識と言っても、視覚障害者に、得られるのでしょうか。

A… 50年ほど前に、〈漢点字〉が発表されました。触読文字の〈漢字〉の体系です。これを学べば、〈漢字〉の受信装置が手に入ります。その後は、読書あるのみです。

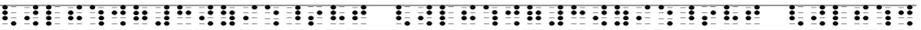
以上が私の感想ですが、これはあくまで「視覚障害者」が〈漢字〉の世界に入るには…ということを考え

た場合のことです。

しかしながら、〈漢点字〉の使用者と自称する視覚障害者は全国に散らばっております。にも関わらず、〈漢点字〉の普及は遅々として進んでいないと言われています。それはどうしてか、疑問はその点に絞られます。

結論から言わせていただければ、その全国区に散らばっているとされる〈漢点字〉の使用者からの、発信が乏しいことによると言われても仕方がないように思われます。〈漢点字〉使用者からの発信が乏しいところから、公共の施設への〈漢点字〉のニーズが届かず、公認の遅れが生じていて、川上先生がお亡くなりになってから30年を経た現在も、当時の状況と変わっていないということではないでしょうか。

ニーズの高まりを期待したいと思います。



参考資料

字式について (五)

岡田 健嗣

前回に引き続き、漢字の字形を字式で表す方法をご紹介します。
漢字の音読を五十音の順に並べます。

「日」 (エツ `エツ、 いう)

口 > 一

「悦」 エツ (よろこぶ)

立心偏 + ソ兄

「越」 *B エツ `エツ、 こす こえる

走にょう @+ 戊 (まさかり)

「謁」 エツ (まみえる)

言偏 + 日 / 句 (句 勺 (つつみ構え) >ヒ)

「閱」 エツ (かぞえる けみする)

門構え > ソ兄

「延」 エン のびる のべる のばす (つらなる はかみち)

廼 (えんにょう) @+ ノ・止

「沿」 エン そう (へり)

さんずい + 八 / 口

「炎」 エン ほのお (タン)

火 / 火

「垣」 かき (エン `エン、)

土偏 + 亘 (かん) (亘 一/日/一)

「宴」 エン (たのしむ うたげ)

ウ冠 / 日 / 女

「援」 エン `エン、 (ひく たすける)

手偏 + ノツ / 一・友

「園」 エン `エン、 その



- 口 (くに構え) > 袁 (えん) (袁 土/口・衣下)
- 「煙」 エン けむる けむり けむい (イン)
- 火偏 + 西 / 土 (^西 一・//\・口)
- 「猿」 エン `エン、 さる
- けもの偏 + 袁 (えん) (袁 土/口・衣下)
- 「遠」 エン `エン、 オン `ヲン、 とおい
- しんによウ @+ 袁 (えん) (袁 土/口・衣下)
- 「鉛」 エン なまり
- 金偏 + 八 / 口
- 「塩」 エン しお
- 土偏 + ノ一 / 口 / 皿
- 「演」 エン (イン のばす おこなう)
- さんずい + 寅 (いん) (寅 ウ冠/一・由・八)
- 「縁」 *B エン ふち (タン へりかざり)
- 糸偏 + ^ヨ・冢 (いのこ)
- 「汚」 オ `ヲ、 けがす けがれる けがらわしい よごす よ
ごれる きたない (ウ ワ)
- さんずい + 二・\ `勺 (つつみ構え)
- 「央」 オウ `アウ、 (まんなか)
- ^口\人
- 「応」 オウ (こたえる まさに)
- 广 (まだれ) > *B心
- 「應」 广 > “ ‘人偏+隹 (ふるとり) ’ /心”
- 「往」 オウ `ワウ、 (ゆく)
- 行人偏 + 主
- 「押」 オウ `アフ、 おす おさえる (コウ `カフ、)
- 手偏 + 甲
- 「欧」 オウ (うたう はく)
- 区 + 欠
- 「歐」 區 + 欠
- 「殴」 *B オウ なぐる (うつ)



区 + 夂 (ル又)

「毆」 區 + 夂

「桜」

木偏 + ツ / 女 オウ "アウ、 さくら

「櫻」 木偏 + 嬰 (嬰 "貝+貝" / 女)

「翁」 オウ "ヲウ、 (おきな)

公 / 羽

「奥」 オウ "アウ、 おく (オク ふかい)

ノ門 (えん構え) > 米 / 大

「奥」 ノ門 > 采 (ノ米) / 大

「横」 オウ "ワウ、 よこ (コウ "クワウ、 ほしいまま)

木偏 + 黄

「屋」 オク "ヲク、 や (いえ)

尸 (しかばね) > 至

「億」 オク (おもう かず)

人偏 + 意

「億」 オク (おもう)

立心偏 + 意

「乙」 オツ (イツ まがる きのと)

一;レ※

「音」 オン、 イン おと ね

立 / 日

「恩」 オン (めぐみ いつくしむ)

因 / 心

「温」 オン "ヲン、 あたたか あたたかい あたたまる あた
ためる (ウン おだやか)

さんずい + 日 / 皿

「穩」 オン "ヲン、 おだやか

ノ木偏 + ノツ / ヨ / 心

「穩」 ノ木偏 + 爪 / 工 / ^ ヨ / 心

点字から識字までの距離 一二四

山内 薫

障害をめぐる条約や法規の現状 (二)

「障害者の権利に関する条約」(一)

二〇〇六年一月三日に国連総会において採択され、日本が世界で一四一番目の国として、二〇一四年一月二〇日に批准した「障害者の権利に関する条約」(以下「障害者権利条約」)は、その(a)から(y)までの二五に及ぶ前文の中で

「(e) 障害が発展する概念であることを認め、また、障害が、機能障害を有する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用であって、これらの者が他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げるものによって生ずることを認め、」と障害の社会レベルについて言及し、第一条 目的では「この条約は、全ての障害者によるあらゆる人権及び基本的自由の完全かつ平等な享有を促進し、保護し、及び確保すること並びに障害

者の固有の尊厳の尊重を促進することを目的とする。

障害者には、長期的な身体的、精神的、知的又は感覚的な機能障害であつて、様々な障壁との相互作用により他の者との平等を基礎として社会に完全かつ効果的に参加することを妨げ得るものを有する者を含む。」として具体的な障害の定義をせず、環境との相互作用によって障害が生じるといふ立場をとつてい

る。その上で次の「第二条 定義」は以下のような内容になつてゐる。

「この条約の適用上、

「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読その他の補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段及び様式(利用しやすい情報通信機器を含む。)をいう。

「言語」とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう。

「障害に基づく差別」とは、障害に基づくあらゆる区別、排除又は制限であつて、政治的、経済的、社会

的、文化的、市民的その他のあらゆる分野において、他の者との平等を基礎として全ての人權及び基本的自由を認識し、享有し、又は行使することを害し、又は妨げる目的又は効果を有するものをいう。障害に基づく差別には、あらゆる形態の差別（合理的配慮の否定を含む。）を含む。

「合理的配慮」とは、障害者が他の者との平等を基礎として全ての人權及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であつて、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。

「ユニバーサルデザイン」とは、調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲で全ての人々が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計をいう。ユニバーサルデザインは、特定の障害者の集団のための補装具が必要な場合には、これを排除するものではない。」

はじめの「意思疎通」は英語の正文では「Communication」となっており、コミュニケーション上の障害を克服する様々な手段が羅列されている。ちなみに平易

な言葉は「plain-language」、朗読は「human-readable」となっている。（国連の公用語はアラビア語、中国語、英語、フランス語、ロシア語、スペイン語の六カ国語で、それぞれが正文とされている）

そして次に「言語」とは、音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう、と書かれ、手話が言語であることを国際的に承認することとなった。一八八〇年にミラノで開催された第二回国際ろう教育会議で「聞こえない子どもにも、音声言語を習得させることができる。そのために手話使用を禁止しよう」と、口の動きを読みとる「読話」や声に出す「発話」の「口話」のみをろう学校で使うことを勧める決議がされてから一二六年も経つてのことだった。一九六〇年にウイリアム・ストーカーが手話も独自の体系を持つ二重文節性のある言語であることを発見し報告してからも四六年の歳月がかかったことになる。

日本でも「口話教育が広がり、一九三三年には鳩山一郎文部大臣（当時）が口話で教えるよう訓示。聞こえる人と同じように育てるといふ教育方針で、ろう学校での手話は禁止された。」（朝日新聞二〇二四年五月二四日）戦後、栃木県立聾学校が一九六八年に「手

「話法手引き」を作成して教室に手話を再び持ち込んだが、これはあくまでも音声言語である日本語を手指で表す代替コミュニケーションである「日本語対応手話」であって、音声言語である日本語とは独立した手話言語「日本手話」ではなかった。

日本の国内法では二〇一一年の障害者基本法の改正で手話が言語であることが明記されたが、教育の場では『聴覚障害教育の手びき』（文部科学省 二〇二〇）に至ってようやく「言語」としての日本手話と日本語対応手話を区別するようになった。

聾の団体からは国の法律としての二〇一二年に「手話言語法」の法案が公表されており（二〇一八年修正案公表）、制定するように要望が出されているが未だに実現していない。一方それぞれの自治体ごとに作成する「手話言語条例」を成立させている自治体は、二〇二四年一月一日現在三八道府県、二一区、三五九市、一一九町、七村の計五四四自治体に上っている。（全日本ろうあ連盟事務局把握分）

「手話言語法」が成立すれば（条例であっても可能だが）当然自治体の広報や選挙公報の動画による手話版が音声版や点字版と同じように作成され、必要とし

ている人の手元に届かなくてはならないだろう。このような手話翻訳は検討が始まったばかりで、「例えば、がん資料について、皆川ら（二〇二二）*は、一般患者向けに書かれたがん冊子を日本手話に翻訳することに当たって、さらに情報を足す必要があったことをまとめている。元の資料も、一般の日本人向けとして十分に検討されている。それでも元資料に掲載されている図解だけでは不足だと、新たな図を足したり、日本語では十分と思われた文言が抽象的で誤解を生むとして、具体的な内容を調べて付け足したり、文字で書かれた単語や手術の方式の翻訳をするのに、医学書を参照して身体部位を正しく表出したりする工夫が必要だった。つまり、ろう者に必要な視覚的イメージや、日本語のコミュニケーションに比べて共有されていないと思われる文脈情報を足すことが必要なのである。」（「第八章 手話の認知科学」高嶋由布子 『ことばと学び』シリーズ〈ことばの認知科学〉 朝倉書店 二〇二四）手話に関する記述はこの論文に多くを負っています。

*「ろう者を対象にした医療情報の翻訳における課題—がん冊子の手話動画作成を通して—」『日本ヘルス

コミュニケーション学会雑誌』一三・三〇—三九)

著作権法の第四十七条六（翻訳、翻案等による利用）は、次の各号に掲げる規定により著作物を利用することができるときには、当該各号に掲げる方法により、当該著作物を当該各号に掲げる規定に従つて利用することができる。として

五 第三十七条第三項 翻訳、変形又は翻案（視覚障害者等）

六 第三十七条の二 翻訳又は翻案（聴覚障害者等）
が、それぞれできることになっている。六の翻訳はまさに他言語である「日本手話」への翻訳を指し、翻案も認める条項となっている。

音声言語である日本語の日本手話への翻訳は緒に就いたばかりであり、今後多様な事例や試みを通して、より正確で分かりやすい手話翻訳の確立が望まれる。

さて第二条定義ではその後「障害に基づく差別」の禁止と「合理的配慮の提供」の二点が述べられている。この二つは日本の障害者差別解消法などにも盛り込まれている実効性を伴った具体的な施策の柱である。

この内「合理的配慮」については、最近あちこちで耳にする機会が増えたが、この言葉に対して「合理的配慮」と呼ばれている内容は、日本独特のものであり、国際的な考え方からは大きく隔たっている」と指摘する人もいる。（慎 英弘（シン ヨンホン）「『合理的配慮』とは何か」点字毎日活字版 二〇一五年一月二十九日）

慎氏は「英語の正文『reasonable accommodation』を『合理的配慮』と訳している。これは正しい翻訳なのだろうか。『reasonable』を『合理的』と訳せたとしても、『accommodation』には『配慮』という意味はないのであるから『配慮』とは訳せない。『便宜』や『調整』などの意味であり、『配慮』と訳すのは全くの違訳であり、強引極まりない訳語である。」続けて「『配慮』という訳語は、まさに配慮する側に力点が置かれ、主体は障害者ではなく、配慮する側になつてしまふ。」と疑義を述べている。中国語の正文でも「合理的」「便利」となっており、英語やフランス語と共通している。合理的な配慮（便宜）の提供の問題は障害者の主体的な権利の問題として捉えなければならぬだろう。

漢文のページ

詩経より 唐風（国風）

鴝羽はうう

肃タル 肃タル 鴝羽ケレバムコト 集フ 于ハ 苞フル 栩ニ

王ヲカ 事ハン 靡レ 監ムコト 不レ 能ハ 藝フル 稷ヲ 黍ニ

父ヲカ 母ハン 何レ 怙ムコト 悠タル 悠タル 蒼ヨ 天ヨ

曷カ 其レ 有ラン 所ムコト

肃タル 肃タル 鴝翼ケレバムコト 集フ 于ハ 苞フル 棘ニ

王ヲカ 事ハン 靡レ 監ムコト 不レ 能ハ 藝フル 黍ヲ 稷ニ

父ヲカ 母ハン 何レ 食ムコト 悠タル 悠タル 蒼ヨ 天ヨ

曷カ 其レ 有ラン 極ムコト

肃タル 肃タル 鴝行ケレバムコト 集フ 于ハ 苞フル 桑ニ

王ヲカ 事ハン 靡レ 監ムコト 不レ 能ハ 藝フル 稻ヲ 梁ニ

父ヲカ 母ハン 何レ 嘗ムコト 悠タル 悠タル 蒼ヨ 天ヨ

曷カ 其レ 有ラン 常ムコト

鴝羽はうう

（読み下し文は現代
仮名遣いにしました）

肃肃たる鴝羽 苞栩に集う
しゆくしゆくたるほうう ほうくにつどう

王事監むこと靡ければ 稷黍を藝うる能ず
おうじやむことなれば しよくしよをううるあたわず

父母何をか怙わん 悠悠たる蒼天よ
ふぼなにをかくらわん ゆうゆうたるそうてんよ

曷か其れ所むこと有らん
いつかそれやむことあらん

肃肃たる鴝翼 苞棘に集う
しゆくしゆくたるほうよく ほうきよくにつどう

王事監むこと靡ければ 黍稷を藝うる能わず
おうじやむことなれば しよくしよをううるあたわず

父母何をか食らわん 悠悠たる蒼天よ
ふぼなにをかくらわん ゆうゆうたるそうてんよ

曷か其れ極むこと有らん
いつかそれやむことあらん

肃肃たる鴝行 苞桑に集う
しゆくしゆくたるほうこう ほうそうにつどう

王事監むこと靡ければ 稻梁を藝うる能わず
おうじやむことなれば とうりようをううるあたわず

父母何をか嘗めん 悠悠たる蒼天よ
ふぼなにをかなめん ゆうゆうたるそうてんよ

曷か其れ常むこと有らん
いつかそれやむことあらん



鴝 羽、はうう

肅 肅 タル 鴝 羽 集 フ 于 苞

椶 ニ

王 事 靡 ケレ バ 監 ムコト 不

能 ハ 蓺 フル 稷 黍 ヲ

父 母 何 ヲカ 怙 ハン 悠 悠 タル 蒼

天 ヨ

曷 カ 其 レ 有 ラン 所 ムコト

～ 鹽 “臥 > 古” / 皿 こ しお もろい

～ 蓺 草冠 / 執、 げい げい うえる わ ざ

(執 土・ 八 / 土+丸)

※ 監 蓺 執 は、JIS第二水準内にはない漢字。

『詩経』 中国最古の詩集。周の祭祀の歌（雅・頌）と、周代の各地の民謡（風）を、戦国時代に儒家が編集した。

＝ 出征した若者が祖霊と天神に戦争の終息を祈る詩 ＝

シュクシュクと羽音をたてて鴝の鳥はくぬぎのしげみに降りたち集う。王のいくさは止むことなく、私は故郷に帰って稷黍(きび)を植えることもできない。父母は何を食べて生きてゆけばよいのだ。はるかなる青い空よ、天よ、いったいいつになったらこの戦役はおわりをつげるのだ。

ほう のがん
鴝は雁に似た大型の鳥(野雁)。
鳥は祖霊の象徴であり、椶(くぬぎ)や棘(いばら)・桑のしげみを依代(よりしろ)として降臨する。



ノガン(野雁)
トキ(鴝)とは別種

漢文訓読と通釈・解説は、新書漢文大系「詩経 中」石川忠久・福本郁子編(明治書院)によりました。

一 神奈川県社会福祉協議会様から、表彰をいただきます。

このほど、横浜氏社会福祉協議会様からのご推薦をいただきまして、神奈川県社会福祉協議会様から、表彰をいただく運びとなりました。

長年に渡る会員の皆様への活動の賜です。会員の皆様、心より御礼申し上げます。

また、長年本会の活動をご支援下さいます皆様には、この活動を当初からご理解いただきまして、ご支援を賜って参りました。深く感謝申し上げます。

また、市社会福祉協議会様、県社会福祉協議会様には、本会の活動を暖かくお見守り下さっております。お陰様で活動の足下が、しっかりと定まっております。深く感謝申し上げます。

皆様方への感謝を忘れずに、活動を継続して参ります。

今後とも相変わりがありません、どうぞよろしくお願い申

し上げます。

大変ありがとうございます。

二 町田市赤十字点訳奉仕会様からお招きをいただきました。漢点字のお話をさせていただきます。

去る一〇月一五日（火）に、町田市赤十字点訳奉仕会様からお招きをいただき、漢点字のお話をさせていただきます。

お話のあらまは、レジュメとともにまとめとして掲げました。

町田市赤十字点訳会様には、漢点字学習者用として、浮き出した点線で、漢字のパターンを表したものを作っていただいております。パターンの形状など、私どもの要望にも丁寧に対応して下さって、大変見事な出来のものをご提供いただいております。

大変ありがとうございます。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

三 『諸注評釈新芭蕉俳句大成』

今年度・令和六（二〇二四）年度分の、横浜市中央

図書館様への納入書として、『諸注評釈新芭蕉俳句大成』（佐藤勝明編、明治書院）の、第四分冊から第一分冊までの八分冊を製作しております。

むめが香、かに追、おひもどさるゝ寒さかな

むめがゝにのつと日の出る山路かな

梅が香（か）に昔の一字あはれ也

梅恋（こ）ひて卯花（うのはな） 拝ムなみだかな

萩（をぎ）の声こや秋風の口うつし

萩（をぎ）の穂や頭（かしら）をつかむ羅生門

起（おき）よ、我（わ）が友にせんぬる胡蝶

梅白しきのふや鶴を盗（ぬす）まれし

おくられつおくりつはては木曾の秋

落（お）ちくるやたかくの宿（しゆく）の郭公（ほ

ととぎす）

御子良子（おこらご）の一（ひと）もと床（ゆか）し梅の花

かげろふの我（わ）が肩にたつ紙衣（かみこ）哉

かげろふや柴胡（さいこ）の糸の薄曇（うすぐも

り）

笠島はいづこさ月のぬかり道

笠寺やもらぬ崖（いはや）も春の雨

かさもなき我（われ）をしぐるゝかこは何（なん

と）

櫛の木の花にかまはぬすがたかな

数ならぬ身となおもひそ玉祭り

風色（かぜいろ）やしどろに植（う）ゑし庭の萩

風の香（か）を南に近し最上川

風吹（ふ）けば尾ぼそうなるや犬桜

編集後記

▼編集を担当されている宮澤さんが体調をくずされて、木下がピンチヒッターとして再登場です▼岡田さんの町田での講演会には私も同席させていただきました。会場には、多数の赤十字奉仕団のボランティアの方々他に、視覚障害者の方も何人かお見えでした。講演後の質疑で、その中の一人から岡田さんの漢点字に関する説明がよく理解されていない様子が見受けられました。岡田さんの説明を聞けば、漢点字というものが簡単に覚えられるのではないかと、かという期待を持っていたようですが、そうではないことを知って、がっかりしたようです▼日本語が、漢字なくしては完全に表現することが不可能な言語であることは明らかです。書かれた日本語の文章を正確に点字で表現するには漢点字を利用するしか方法がないと思います。しかし、漢点字を使って表現された文書を読むには数千個の漢点字を覚える必要があります。それを実行しようという意欲を持った視覚障害者の方が増えてくれないということが、残念でなりません。

木下 和久

(有) 横浜トランスファ福祉サービス

障害者自立支援法の下、障害者にガイドヘルパーを派遣して、外出を支援しています。対象は、横浜市在住・在宅の、視覚・肢体・知的重度障害者。

常時募集・ガイドヘルパー：資格・ホームヘルパー2級以上、および視覚・肢体障害者移動介護研修修了。

業務概要：上記障害者の外出支援。詳細は担当・柳田まで。

研修者募集：弊社では、ガイドヘルパー（視覚障害者）の資格取得研修を実施致します。詳細はホームページで。



URL: www.ytrans.net

〒231-0063横浜市中区花咲町1-46-1

GSプラザ桜木町1105

電話: 045-263-0306

FAX: 045-263-0316

E-MAIL (岡田健嗣) : okada_tr_eib@ybb.ne.jp

横浜漢点字羽化の会 URL : <http://www.ukanokai-web.jp/>

《表紙絵 岡 稲子》 次回の発行は2025年1月15日です。

※本誌(活字版・DAISY版・ディスク版)の無断転載は固くお断りします。